

当建設産業委員会に付託された案件については、12月8日、午前9時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第78号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

休業等協力金支給事業について、この事業の予算は何を根拠に積算したのか。とに対し、

経済センサスの結果から、愛知県が休業もしくは時間短縮の協力を要請した業種で抽出した事業所数を事業者数に換算し、支給額を積算したものです。とのこと。

今回の休業等協力金支給事業をどのように分析しているか。とに対し、

多くの事業者に協力していただきましたが、一部のチェーン店などが開業していたように思います。今回の協力金は事業所に対してではなく、対象の事業者に対して一律50万円が支給されるものであるため、事業所を多数所有する事業者の方の中には、協力いただけない方がいたことも減額補正となった一因と考えております。とのこと。

事業継続緊急支援金事業について、大幅な予算の減額補正となったが、この結果を受けて、当初の予算の算定方法についてどのように分析しているか。とに対し、

商工会議所の新型コロナウイルス対策緊急特別融資制度である「元気創生融資」のサンプル130件と、国の融資制度である「セーフティネット保証制度」のサンプル140件を、業種別、売上別に分析した結果を基に支給額の予測を行いました。予算が過大となったのは、国の緊急事態宣言、県の休業要請が発出される状況の中、5月、6月の市内事業所の経営見通しに最大限の危機感を持っておりましたので、現に資金繰りのため、融資の申し込みをされた事業者の経営状況を市内の全事業者にあてはめて推計したことが一番の要因と考えます。とのこと。

休業等協力金支給事業、事業継続緊急支援金事業及び緊急特別融資利子補給補助金事業の 3 つの事業について、成果をどのように考えているか。とに  
対し、

半田商工会議所からコロナの影響で倒産した企業はなかったと聞いており  
ます。また、知多信用金庫が公表している景気動向調査等を踏まえても、一  
定の効果があったと認識しています。とのこと。

諸証明事務事業について、市民課にらくらく窓口証明交付サービスを導入  
することにより、コンビニに設置されているマルチコピー機と同じ操作を体  
験でき、次回以降はコンビニでの証明書の取得を促すことができるとのこと  
だが、市民課窓口への来庁者が減れば、窓口の人員削減も検討するのか。と  
に對し、

窓口業務は業務委託をしておりますが、今後の来庁者数の推移を見ながら、  
窓口業務の委託内容についても協議検討をしていきたいと考えています。と  
のこと。

らくらく窓口証明交付サービスを導入するにあたり、利用方法の補助も状  
況に応じて行うとのことだが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、  
職員と市民の接触機会が増えることはどのように考えているか。とに對し、

導入後は、一時的に接触する機会が増える懸念はありますが、コンビニで  
の証明書の取得を促すことができれば、市民課窓口の混雑緩和ができ、結果  
として新型コロナウイルス感染症予防対策にもなると考えています。とのこ  
と。

(仮称) 城ノ上公園整備事業について、令和 2 年度の予算審査では、公園  
を設置することは非常に重要とのことだったが、今回公園整備に係る予算を  
減額補正するということは、公園は必要なかったということか。とに對し、

公園は市民の憩いの場であるとともに、防災機能も有することから非常に  
重要で必要な施設だと考えていますが、この場所については保育園の候補地  
とすることで、より土地の有効活用が図れると判断し、今年度の予算につい  
ては減額補正をさせていただきたいとするものです。とのこと。

令和２年度の予算編成時に、市営城ノ上住宅跡地の活用について、深く議論がされていれば、予算の減額補正にはならなかったと思うがどうか。とに  
対し、

今後は、長期的な視点で市全体の事業を展望するなかで、他部署との連携を密にし、議論を深め、計画を立てていきたいと考えております。とのこと。

公園用地がなくなることは、区長には説明しているとのことだが、地域の合意はどのようにとっていくのか。とに対し、

保育園の建設について、今後、地域に説明することを予定していますので、その中で公園の廃止についてもきちんと説明していきたいと考えています。とのこと。

花園保育園の移転先が決定していない中で、公園整備に係る予算を減額補正するのではなく、翌年に繰越す方法もあったと思うが、減額補正を選択した理由は何か。とに対し、

半田市として、市営城ノ上住宅跡地を保育園の移転候補地と決めた時点で、（仮称）城ノ上公園整備事業の予算については、一度取り下げ議会に説明すべきだと考え、今回減額補正を行いたいとするものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第７９号、議案第８０号、議案第８４号及び議案第８５号については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、委員全員をもって、いずれの議案も原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第９０号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

除草作業中の車両損傷事故について、同じような事故がたてつづけに発生しているが、今後事故を未然に防ぐためにどのような対策を行っていくのか。とに対し、

地域の公園を地域の方が愛着を持って管理することは大切なことであるため、これからも地域に公園の除草作業をお願いしていきたいと考えています。今後は、事故が起きないように、草刈り機の使用方法について、さらに指導を徹底していきます。また、講習会の開催、専門家による指導や草刈り機を極力使用しない形での管理なども含めて対策を考えていきます。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。